

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり22.2人と、多い状態が続いています。

また、12月に入って、感染性胃腸炎の集団発生が7件(うち4件がノロウイルスと判明)報告されています(12月17日現在)。

予防のポイントは次頁を参照してください。

2. インフルエンザ

前週の1人(定点当たり0.03人)から10人(定点当たり0.27人)に増加しています。全国でも増加を続けており、今週中にも全国的な流行開始の目安である定点当たり1.0人を超えると予測されます。

また、12月17日に広島市で今シーズン初めての「集団かぜ」による学級閉鎖が報告されています。

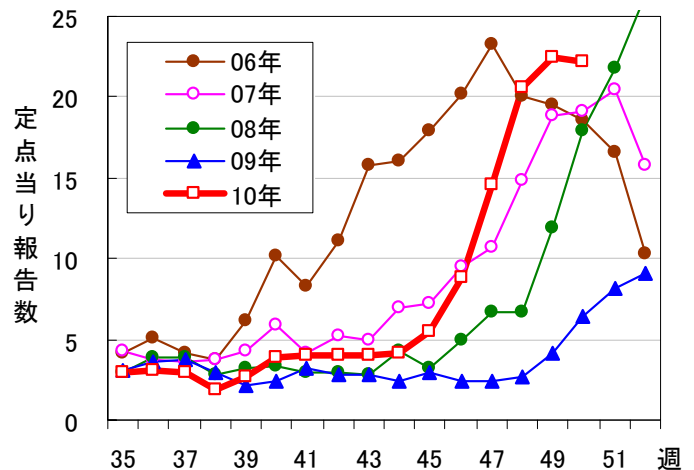
なお、広島市衛生研究所の検査結果では、患者4人から新型インフルエンザウイルス(A/H1N1)が検出されています(12月21日現在速報値)。

寒い日が続いていますので、健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行など感染予防に心がけてください。

3. 水痘

定点当たり3.71人と増加しています。

感染性胃腸炎



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号
インフルエンザ	10	0.27	8.22		ヘルパンギーナ	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.48		流行性耳下腺炎	14	0.58	1.20	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.92	1.75		RSウイルス感染症	18	0.75	1.54	
感染性胃腸炎	533	22.21	16.32		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	89	3.71	2.84		流行性角結膜炎	-	-	0.85	
手足口病	-	-	0.13		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	4	0.17	0.22		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発しん	8	0.33	0.64		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.46	
百日咳	2	0.08	0.09		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	219	男性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・1人、女性(50歳代)・1人
4	つつが虫病	2	7	女性(10歳代)、男性(70歳代)
5	ウイルス性肝炎	1	6	男性(60歳代)・B型

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	第46週	—	6	21	211	44	—	2	16	3	—	21	12	1	10	—	—	1	—
	第47週	2	2	33	350	60	2	1	14	10	—	19	14	—	5	2	—	3	—
	第48週	1	4	25	494	81	4	3	12	4	—	10	14	—	2	—	—	—	—
	第49週	1	7	26	540	59	5	1	10	8	—	16	19	—	7	—	—	3	—
	第50週	10	3	22	533	89	—	4	8	2	—	14	18	—	—	—	—	1	—
定点当り	第46週	—	0.25	0.88	8.79	1.83	—	0.08	0.67	0.13	—	0.88	0.50	0.13	1.25	—	—	0.14	—
	第47週	0.05	0.08	1.38	14.58	2.50	0.08	0.04	0.58	0.42	—	0.79	0.58	—	0.63	0.29	—	0.43	—
	第48週	0.03	0.17	1.04	20.58	3.38	0.17	0.13	0.50	0.17	—	0.42	0.58	—	0.25	—	—	—	—
	第49週	0.03	0.29	1.08	22.50	2.46	0.21	0.04	0.42	0.33	—	0.67	0.79	—	0.88	—	—	0.43	—
	第50週	0.27	0.13	0.92	22.21	3.71	—	0.17	0.33	0.08	—	0.58	0.75	—	—	—	—	0.14	—
全国	第48週	0.70	0.49	2.03	15.84	2.15	0.26	0.51	0.55	0.03	0.04	1.23	0.93	0.01	0.64	0.02	0.02	0.71	0.03
	第49週	0.93	0.59	2.15	17.23	2.23	0.25	0.52	0.53	0.03	0.05	1.30	1.13	0.02	0.80	0.02	0.03	0.62	0.05

■新たに判明した病原体検出状況

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.4) 上気道炎 気管支炎 熱性痙攣	2	男	2010/11/11	咽頭拭い液	RSウイルス
咽頭結膜熱	発熱(39.0) 気管支炎 結膜炎 リンパ節腫脹	1	男	2010/11/08	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス2型
流行性耳下腺炎	発熱(39.2) 耳下腺腫脹 髄膜炎 嘔吐	8	女	2010/11/16	髄液	ムンプスウイルス
無菌性髄膜炎	発熱(39.0) 髄膜炎	6	女	2010/11/05	髄液	コクサッキーウイルスB1型
川崎病	発熱(40.0) 紅斑 胃腸炎 黄疸 リンパ節腫脹	5	女	2010/11/12	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.7) 気管支炎	0	男	2010/10/20	鼻汁(拭い液)	RSウイルス
その他の疾患	発熱(38.9)	0	女	2010/09/25	糞便	エコーウイルス25型
その他の疾患	発熱(40.0) 上気道炎 熱性痙攣	1	女	2010/11/10	咽頭拭い液	アデノウイルス2型

●ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう。●

【予防のポイント】

◆手洗い・うがいの励行

最も基本的なことは、手洗い、うがいの励行です。(特にトイレの後、便や吐物を処理した後、調理の前、食事の前など) 手洗いは石けんを使用し、しっかりと流水で洗い流してください。

◆食品の十分な加熱

ノロウイルスは熱を加えると死滅するので、ノロウイルスが含まれている可能性のある食品は、中心部まで十分(85℃以上の温度で1分間以上)加熱しましょう。

◆調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤などを使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤(*)又は煮沸で消毒しましょう。

◆糞便・吐物の取扱いに注意

患者の便、吐物には多量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤(*)で消毒しましょう。

* 塩素系消毒剤としては台所用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

詳しくは、広島市感染症情報センターHP「[感染症トピックス／ノロウイルスによる感染性胃腸炎](http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1265934252697/index.html)」をご覧ください。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1265934252697/index.html>

★お知らせ★ 2010年第51週の広島市感染症週報は、1月5日に発行予定です

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第50週(12月13日～12月19日)